

平成30年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493500217	事業の開始年月日	平成25年4月1日	
		指定年月日	平成25年4月1日	
法人名	株式会社メディカルケアシステム			
事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや			
所在地	( 247-0007 ) 横浜市栄区小菅ヶ谷1-27-5			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成31年2月9日	評価結果 市町村受理日	令和1年6月28日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念経営、働いて頂くスタッフの皆さんに会社の方向性を示し理念を理解して頂き、みんなで力を合わせて入居者様には日々の生活を過ごして頂き、関わる方が幸せになって頂けるよう、希望を持てるように日々を築いていきます。入居者様に安心して頂ける環境を心掛け、医療面の充実やレクリエーション、役割提供を積極的に行っており笑顔が多いホームとなっており、入居者様とスタッフとの関係も良好であります。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	平成31年3月11日	評価機関 評価決定日	令和1年6月20日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR京浜東北根岸線「本郷台駅」より徒歩10分ほどです。近隣には中学校や小学校、保育園のほかスーパーマーケット、ドラッグストアもあります。建物は木造2階建て2ユニット18名です。同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所が隣接しています。

<優れている点>

新たに着任した現管理者は理念の理解と共有のため、理念解釈の勉強会や、携帯用理念カードの再配布を実施しています。朝礼で読み合わせて理念を暗記するまで高め、何を目標として支援しているかを全員が理解できるよう努めています。また、介護面では入居者の「健康に元気で暮らしたい」希望から、日常の健康管理を具体化しています。目視による全身状態の把握、バイタルチェック、高血圧の注意、薬の副作用状況の確認、水分補給など、健康に生活できるよう日々確認しています。医療面では体調変化の早期発見をプランに明記し、医師・看護師との連携を取りつつ、体調管理をしています。一方、入居者の「自分でできることは自分でやっていきたい」という希望から、個別プランに位置付けた「できることに参加する」項目で「楽しく話ができる環境づくり」や「好きな活動ができるよう種目も提供する」と記述しています。

<工夫点>

新しく「GHすこやか面談アンケート」を作成し、その集約から職員の希望や考え方を把握しています。勉強会の希望テーマをすぐの実施したり、現場で大切にしている事象から理念の勉強会へ繋いでいます。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	現在理念に関しては浸透しD4:D59ている所で、ミーティングで話しを行い、これから浸透していけるように思っています。	管理者は職員ミーティングで「理念＝こうあるべき方向性の考え」を解説し、記録しています。企業理念、介護理念の詳細説明を行い、企業の価値観にも言及しています。理念の再確認のため「クレドカード」を全員に再配布しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	傾聴ボランティアや西本郷中学校職業体験など地域との関係性を築いております。	傾聴ボランティアや大正琴演奏の地域の人を受け入れています。福祉体験の中学生を定期的に受け入れています。中学生は事業所の看護師から入居者との具体的な接し方を学んでいます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	職業体験の際に認知症についての勉強会を看護師が行い、初期の認知症についての理解をして頂きました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の参加者が少なく、今後地域の方にも少しでも多く参加して頂けるように考えていきたいと思えます。	平成30年度は5回の開催となっています。年度下期に連続して3月の開催も計画しています。職員と管理者とで業務の見直しを進めていることを参加者の地域包括支援センター職員は理解しています。	地域住民と家族の参加がみられません。今後、取り組んでいる業務の見直しから、再び参加者の増加に繋がるのが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所の主催している行事には参加させて頂いています。	区役所の研修会や説明会などの主催行事には機会を見つけて参加しています。運営推進会議の記録を届けに高齢支援課に出向いています。地域包括支援センターからの助言は、事業所運営の見直しに役立てています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束勉強会を定期的に行っております。その人らしいケアを心掛け、入居者様、御家族様に不快な思いをさせないケアに取り組んでいきたいと思っております。	委員会を年4回実施しています。今後は外部研修の参加も検討しています。入居者の帰宅願望には本人から話を聞き、安心できる声かけを模索して実施しています。安全を優先し、居室内センサーを家族の同意を得て、設置しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	着任してから虐待についての勉強会が出来ていない為、今後行っていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	着任してから成年後見制度についての勉強会が出来ていない為、今後行っていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時は文章の朗読、話し合い、説明を行い対応しております。ご不明な際は後日連絡頂けるようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱の設置やケアプラン作成の際に御家族様からの意見書を頂き、御家族様の声を聞けるように対応しています。	家族からの意見は訪問や面談時の会話、電話・メールでのやり取りから聞き取っています。管理者決済のほか、法人本部での検討もあります。パン食希望者への食費計算法などもそのつど丁寧に回答しています。春に年1回の家族会を計画しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフの声を聞き、現状の把握、問題点、改善点に取り組んでおります。	管理者は業務の見直しのため、ミーティングで理念の再確認をしています。また、新様式「GHすこやか面談アンケート」により、「今後はどんな勉強会を希望しますか」「現場で何か大切にしていることはありますか」などの職員希望を聞き取っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフとコミュニケーションを図る中で情報収集や体調面の確認を行っております。又、個別面談を行い職場環境の改善に取り組んでいきます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	弊社で実務者研修の制度があり、当ホームからも参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月に一回のリスクマネジメント会議を本社で行い、各管理者が参加し、マネジメント、リーダーシップの講義を行い、各現場で落とししております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	スタッフ間で連携を図り、情報共有、報告、連絡、相談を徹底しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居者前に要望を聞く機会を設け、スタッフ間で共有し、御家族様に安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人様、御家族様の意向を聞き、対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	スタッフと入居者様とは良好な関係を築いており、人生の先輩を御世話させて頂いている事は忘れないように対応しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様にも御協力を頂きながら、御家族様と同じ時間を過ごして頂きたいと思っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様に御協力を頂きながら対応しております。	家族の協力で作成したアセスメントシートやフェイスシートの内容から友人・知人の関係を継続しています。家族同伴の友人宅訪問のほか家族の同意を得た友人の訪問を職員は笑顔で歓迎しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	御本人様ペースで過ごして頂いています。日頃のレクリエーションから散歩など入居者様同士関わりを持って頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	出来る範囲で対応を行う。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の声やご家族様の声を聞きながら意向の把握、検討を行っています。	フェイスシートに始まり、アセスメントシート6枚を事業所で作成しています。その後の更新を6ヶ月ごとに1枚実施しています。「私をわかってシート」の活用で本人本位の願いを把握しています。また、家族の意見や希望も大切に把握しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活環境をスタッフ間で共有を行い、無理強いせずに御本人様ペースで経過して頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日2回の申し送りを行い、入居者様の状態確認に努めています。又、主治医、看護師と連携を図り対応を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、御家族様、看護師、介護スタッフの意見をお聞きし、介護計画書の作成を行っています。	職員は日常支援の内容を個人記録や申し送りに記載しています。看護師からは日常相談の回答や指示を受けています。訪問診察時には医師に状況を確認しています。情報から自立支援の介護計画書に繋げています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご入居者様の変化を個人記録や毎日の申し送りで記録に残し、介護計画書の見直しに繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御家族様の御意見を伺っていますが、今後は、主治医や歯科医、マッサージの先生の意見も伺っていきたいと思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域にある喫茶店にお茶を飲みに行ったり、西本郷中学校の職業体験、保育園の訪問など交流をさせて頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的に御家族様に受診は御願ひしております。ホームとしては、出来る範囲でお手伝いをさせて頂いています。かかりつけ医に関しては、御家族様の希望を優先しております。	かかりつけ医の受診は本人、家族の希望を尊重しています。月2回、内科の訪問診療が行われています。歯科医の診療も週1回実施しています。また、週3回来訪する看護師は職員や医師との情報共有に努め、緊密に連携して入居者に対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の変化、体調確認はスタッフ間で共有し、看護師に報告し適切な処置を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、医療機関と定期的に連絡を取らせて頂き、状態の把握、情報交換に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期、お看取りを希望された場合、主治医、看護師、介護職員、御家族と連携を図り、支援を行っています。	終末期、家族に対しては、主治医より説明して、家族の意向を確認し、十分な意思疎通を図っています。職員の不安や恐怖感に対し、看取りの意義や終末期の体の変化、医療との連携について研修を進めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿って対応を行っています。今現在は、訓練が不足していると考えられる為、もう一度マニュアルを見直し対応していきます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	今現在は、訓練が不足していると考えられる為、もう一度マニュアルを見直し対応していきます。又、運営推進会議時などに協力して頂けるように声を掛けていきたいと思っております。	年2回、隣接の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で実施しています。消防署の立ち会いの下、消火器による初期消火やAED講習も実施しています。今後、災害発生時の対応マニュアルを整備して訓練を実施する予定です。非常用食料は3日分用意しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷つけないように注意し対応しております。	声かけは「さん」づけを基本として、親しさの中にも「第三者が見て違和感がない」対応を心掛けています。排泄時のプライバシーはカーテンなどで外部を遮断して守るよう努めています。気づいた事は毎月のフロア会議時に管理者から指導に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	定期的に御本人様の現在の希望を聞く時間を作り、介護計画書に繋げております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員ペースになってしまう日もあると思います。日々のケアを振り返りながら反省していきたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	出来る限りご本人様が選ばれた洋服を心掛けていますが、介助が必要な入居者様については、スタッフが選ぶ事が多くなっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材レクの回数を増やしていき、食事を楽しむ機会を作りたいと思います。	食材とレシピは外部業者に委託し、毎回、職員が交代で調理しています。入居者は職員と一緒に暖かい食事を楽しみ、食器の後片づけなどを手伝っています。誕生会でのケーキ作り、行事での恵方巻やたこ焼き作りなど「食」を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取状況や水分摂取状況の確認を行い、体調面に注意しております。著しく摂取量が低下している際は看護師へ報告を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、入居者様の咀嚼、嚥下低下に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレの声掛けや定期的なトイレ誘導を行い、出来る範囲で御本人様に行って頂いています。	トイレでの排泄を大切にしています。「水分摂取と排泄チェック表」を活用し、本人の排泄リズムやパターンを把握し、見守りながら声かけや誘導をしています。今後もさりげない声かけに努め、個別の支援を継続していこうとしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況の確認を行い、こまめに水分補給を行い対応し、便困が続く際は、看護師指示で下剤で調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	理想は、入りたい時に入って頂くですが、現実的には厳しく、個々に応じた支援が出来ていない状態であります。	週2回以上、午前中の入浴を基本にしています。1階には機械浴の設備を備え、入浴時の身体への負担をかけない入浴ができています。職員は声かけで安全とコミュニケーションを図っています。「ゆず湯」や「しょうぶ湯」で季節感を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御本人様ペースで過ごして頂き、休息や安心して気持ちよく過ごして頂けるように心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬に関してはダブルチェックを行い対応しています。目的や副作用に関しては申し送りノートで看護師より指示を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割提供やレクリエーションを一日の生活な取り組んでおります。天気の良い日は、散歩など外での活動を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望を把握に努め、出来る限りで希望に添えるように対応しております。御家族様とも連携を取っていきたいと思います。	事業所の近くには、市民の憩いの場所「いたち川プロムナード」があり、車の心配のない遊歩道になっています。この遊歩道を散歩コースとして、散歩の希望に応じています。ドライブでは逗子や江ノ島などまで足を伸ばし、自然を満喫しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に立て替え制度で行っています。外出の際は商品を選んで頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現時点では、行えておりません。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5 s 活動に取り組んでおり、整理・整頓・清掃・清潔に意識をしております。ホーム事態もバリアフリーで、オシャレな造りになっています。	斬新なデザインの建物外観です。フローリングの床や壁などの内装材は白系で統一しています。リビングは明るく、1階の天井の一部は吹き抜けになっています。2階の天井には天井扇が回っています。温湿度が管理され、清潔で、居心地良く、笑顔あふれるリビングになっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に工夫をしたり、無理強いほしくない生活環境に取り組んでおります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御本人様の愛着のある物を入居時に持って来て頂いております。入居前の環境が、そのままホームに移ったイメージです。	ベッドやクローゼット、エアコン、カーテン、照明が備え付けられています。馴染みのタンスや椅子、テレビを持ち込み、壁面には家族の写真や思い出の品々を飾り、思い思いにくつる空間になっています。清掃が行き届き、清潔に保たれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活環境に関しては、入居者様が生活しやすい環境となっています。バリアフリーや手摺りなど安全に配慮し、出来る範囲で御本人様に行って頂く事を大切にしております。		

事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	現在理念に関しては浸透しD4:D59ている所で、ミーティングで話しを行い、これから浸透していけるように思っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	傾聴ボランティアや西本郷中学校職業体験など地域との関係性を築いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	職業体験の際に認知症についての勉強会を看護師が行い、初期の認知症についての理解をして頂きました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の参加者が少なく、今後地域の方にも少しでも多く参加して頂けるように考えていきたいと思えます。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所の主催している行事には参加させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束勉強会を定期的に行っております。その人らしいケアを心掛け、入居者様、御家族様に不快な思いをさせないケアに取り組んでいきたいと思っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	着任してから虐待についての勉強会が出来ていない為、今後行っていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	着任してから成年後見制度についての勉強会が出来ていない為、今後行っていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時は文章の朗読、話し合い、説明を行い対応しております。ご不明な際は後日連絡頂けるようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱の設置やケアプラン作成の際に御家族様からの意見書を頂き、御家族様の声を聞けるように対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフの声を聞き、現状の把握、問題点、改善点に取り組んでおります。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフとコミュニケーションを図る中で情報収集や体調面の確認を行っております。又、個別面談を行い職場環境の改善に取り組んでいきます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	弊社で実務者研修の制度があり、当ホームからも参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月に一回のリスクマネジメント会議を本社で行い、各管理者が参加し、マネジメント、リーダーシップの講義を行い、各現場で落とししております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	スタッフ間で連携を図り、情報共有、報告、連絡、相談を徹底しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居者前に要望を聞く機会を設け、スタッフ間で共有し、御家族様に安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人様、御家族様の意向を聞き、対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	スタッフと入居者様とは良好な関係を築いており、人生の先輩を御世話させて頂いている事は忘れないように対応しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族様にも御協力を頂きながら、御家族様と同じ時間を過ごして頂きたいと思っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	御家族様に御協力を頂きながら対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	御本人様ペースで過ごして頂いています。日頃のレクリエーションから散歩など入居者様同士関わりを持って頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	出来る範囲で対応を行う。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の声やご家族様の声を聞きながら意向の把握、検討を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活環境をスタッフ間で共有を行い、無理強いせずに御本人様ペースで経過して頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日2回の申し送りを行い、入居者様の状態確認に努めています。又、主治医、看護師と連携を図り対応を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、御家族様、看護師、介護スタッフの意見をお聞きし、介護計画書の作成を行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご入居者様の変化を個人記録や毎日の申し送りで記録に残し、介護計画書の見直しに繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	御家族様の御意見を伺っていますが、今後は、主治医や歯科医、マッサージの先生の意見も伺っていきたいと思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域にある喫茶店にお茶を飲みに行ったり、西本郷中学校の職業体験、保育園の訪問など交流をさせて頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的に御家族様に受診は御願ひしております。ホームとしては、出来る範囲でお手伝いをさせて頂いています。かかりつけ医に関しては、御家族様の希望を優先しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の変化、体調確認はスタッフ間で共有し、看護師に報告し適切な処置を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、医療機関と定期的に連絡を取らせて頂き、状態の把握、情報交換に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期、お看取りを希望された場合、主治医、看護師、介護職員、御家族と連携を図り、支援を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルに沿って対応を行っています。今現在は、訓練が不足していると考えられる為、もう一度マニュアルを見直し対応していきます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	今現在は、訓練が不足していると考えられる為、もう一度マニュアルを見直し対応していきます。又、運営推進会議時などに協力して頂けるように声を掛けていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷つけないように注意し対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	定期的に御本人様の現在の希望を聞く時間を作り、介護計画書に繋げております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員ペースになってしまう日もあると思います。日々のケアを振り返りながら反省していきたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	出来る限りご本人様が選ばれた洋服を心掛けていますが、介助が必要な入居者様については、スタッフが選ぶ事が多くなっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材レクの回数を増やしていき、食事を楽しむ機会を作りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取状況や水分摂取状況の確認を行い、体調面に注意しております。著しく摂取量が低下している際は看護師へ報告を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、入居者様の咀嚼、嚥下低下に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレの声掛けや定期的なトイレ誘導を行い、出来る範囲で御本人様に行って頂いています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況の確認を行い、こまめに水分補給を行い対応し、便困が続く際は、看護師指示で下剤で調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	理想は、入りたい時に入って頂くですが、現実的には厳しく、個々に応じた支援が出来ていない状態であります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御本人様ペースで過ごして頂き、休息や安心して気持ち良く過ごして頂けるように心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬に関してはダブルチェックを行い対応しています。目的や副作用に関しては申し送りノートで看護師より指示を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割提供やレクリエーションを一日の生活な取り組んでおります。天気の良いは、散歩など外での活動を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望を把握に努め、出来る限りで希望に添えるように対応しております。御家族様とも連携を取っていきたくと思います。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に立て替え制度で行っています。外出の際は商品を選んで頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現時点では、行えておりません。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5 s 活動に取り組んでおり、整理・整頓・清掃・清潔に意識をしております。ホーム事態もバリアフリーで、オシャレな造りになっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に工夫をしたり、無理強いほしくない生活環境に取り組んでおります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御本人様の愛着のある物を入居時に持って来て頂いております。入居前の環境が、そのままホームに移ったイメージです。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活環境に関しては、入居様が生活しやすい環境となっています。バリアフリーや手摺りなど安全に配慮し、出来る範囲で御本人様に行って頂く事を大切にしております。		

平成30年度

## 目標達成計画

事業所名：ちいさな手花咲く街横浜こすがや

作成日： 令和元年 6月26日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地域住民と家族の参加が見られない、今後、取り組んでいる業務内容を見直しから、再び参加者の増加につながる事が期待される。	地域の資源を大切にしていき、家族や地域に運営推進会議の情報を伝えていく。	併設している小規模の管理者と幼稚園、小学校、中学校に挨拶を行い、自治会にも参加を行っていく。御家族については、毎月の情報誌でお知らせしていく。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月